

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 芦安小中学校

芦安っ子

【学校教育目標】

郷土を愛する心と夢を育み
未来を拓く人づくり

令和4年6月20日 NO.3 芦安小学校長



～小中合同の行事も順調に進んでいます。～

6月に入り各地で梅雨入りも発表されている今日この頃です。学校行事もここまで順調に進んでいます。特に、小中一貫教育を進めている芦安小中学校では、小中合同で行う行事が多く設定されています。子供たちの9年間の成長を考慮する中で学習や体験活動等の行事が設定されています。これらの活動を通して、発達段階に応じた生きる力を身に着けていってほしいです。

今回の学校だよりでは、5月下旬から6月中旬にかけての行事や生活の様子を紹介します。

○小中合同森林学習会（5月20日）

芦安ファンクラブの方々のご協力をいただき、1～4年生は木の実を使った工作づくり、5・6年生は中学生と一緒に千段の滝や地域の文化財見学等の学習を行いました。工作づくりでは、用意していただいた材料と子供たちが持ち寄ったドングリや松ぼっくり等を使って、花瓶やキーホルダーなどのおもちゃを夢中で作っていました。また、高学年生の学習会では、学校周辺の森林、自然、地質の解説及び芦安地域の歴史や生活文化と山岳文化等の解説があり、貴重な資料も見学させていただく等、とても良い経験ができました。



○小中合同引渡訓練・防災訓練（5月25日）

お忙しいところ、多くの保護者の皆様方にご協力いただき、引渡訓練、防災訓練を実施することができました。ありがとうございました。地震や災害はいつでもどこでも起こる可能性があります。特に、地震については南海トラフ地震（マグニチュード8～9クラス）の発生が確実視されており、いざという時のための避難訓練が必要不可欠です。これからも、「自分の命は自分で守る」ことを基本に指導していきたいと考えております。



○小笠原流礼法授業（5月31日）

南アルプス市の全小中学校で行われている事業で、「相手を大切に思うところ」「こころとかたち」という教えを道徳教育を中心に多くの教育活動の中に取り入れ、児童生徒の心の教育を推進しています。講師には、西海真紀さんをお迎えし、1～3年生の子供たちが礼儀作法について真剣に学習しました。次回は4～6年生で行うことになっています。



○小中合同太鼓練習開始（6月2日）



芦安の良き伝統と文化を引継ぎ、仲間と協力して最後までやり遂げる気持ちを育てる等の目標を掲げ、今年も小中合同太鼓の練習が始まりました。今年も講師に宗先生をお招きし、小学校4年生から中学生までの総勢18名で活動する予定です。当面は11月の白峰祭での発表に向けて、年間20回程度の練習を実施することになっています。練習には中学校を卒業した生徒や夜叉陣太鼓の保存会の皆様にもご協力いただくことになっています。

○花いっぱい運動（6月8日）

児童会の取組の一つである「さわやかパワーアップ」の一環として、花いっぱい運動があります。これは、縦割り班ごとに分担して花の世話をし、学校の景観を美しくするというものです。17日に行われる人権の花の活動とタイアップして行います。色とりどりのマリーゴールド190株をプランターに植え付けました。これから協力して大きく育てていってほしいです。



○夜叉神登山（6月10日）



天候が心配でしたが、無事に実施できました。ガイドをしてくださった芦安ファンクラブの皆さん、ありがとうございました。自然や歴史、地域の文化など、幅広い学習ができました。頂上で食べたお弁当は最高でしたが、登山者が残っていた缶や瓶などのゴミの多さには驚きました。全員でゴミ拾いをしましたが、とても全部は回収できませんでした。この清掃活動を通して、自然を大切に作る心が育ってくれることを願っています。児童とともに自然に触れ、清掃活動に参加していただいた保護者の皆様もお疲れさまでした。また、4年生の樹名板は、芦安ファンクラブの清水准一さんが毎年作ってくださいます。ありがとうございます。

○人権の花贈呈式（6月17日）

人権擁護委員の川崎様をはじめ、多くの人権擁護委員の皆様方にご協力いただき、人権の花の贈呈式を行いました。式の中ではバルーンリリースも行いました。みんなが仲良く協力し、差別のない明るい社会を作っていくことの大切さを学びました。お花はプランターに植え、校舎周りを華やかに飾ってくれています。

